

「課題名：医療ビッグデータの比較によるコロナ流行下の受療行動変化と異常死リスクの検討」について

○ 研究の意義・目的

異常死におけるデータベースを用いた観察研究は少なく、本研究の結果により、異常死のリスク因子を検討し、原因を推測することで、今後の予防等の介入につなげることが可能になると考え、本研究を計画しました。

○ 研究対象者

2015年1月から2022年12月までの間に兵庫県および隣県にて医療機関を受診した18歳以上の方および2015年1月から2022年3月までの間に兵庫県監察医務室にて検死を受けられた方（E-2024「異常死事例における社会決定要因の検討」の対象者）を対象とします。

○ 研究方法

本研究は、E-2024で兵庫県観察医務室から提供を受けた検死時の情報を医療機関受診時のレセプトデータ（厚生労働省より提供を受けるNDBデータ、介護レセプトデータ）を年齢・性別・基礎疾患・受診歴・投薬歴などの情報により突合させて用います。

使用する内容は性別、年齢、死因、基礎疾患、これまでの受診歴、特定健診結果などです。使用するデータのいずれにも、個人を特定可能な情報は含まれておりません。

○ 試料・情報の管理責任者

広島大学担当理事 田中純子

○ 研究期間 2022年5月21日(利用又は提供を開始する日)～ 2028年 3月 31日

○ 個人情報の保護について

調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。

不明な点がございましたら下記のところまでお問い合わせください。

.....

お問い合わせ先

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3

T e l : 082-257-5461

広島大学病院 総合診療科 教授 伊藤 公訓（研究責任者）

助教 宮森 大輔（担当者）